

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-09-06
事務事業名	水質管理事業	根拠法令・要綱等	水道法
事業開始年度	平成17年度(昭和38年)	問合せ先	水道課
大項目	基本目標 安全で快適に暮らせる町づくり	担当課(室)	水道課
中項目	基本施策 生活しやすい町づくり	職・氏名	施設係長 吉栖 満
小項目	施策 上水道	電話	0869-66-9793

事業の実施	対象(誰・何に対して)	備前市の上水道使用者
目的(何のために)	市民へ給水する水道水としての水質基準に適合する浄水の水質管理を行い、安全で良質、しかも安価な水道水の安定供給を図れる。	
行政活動(どのような方法で)	水質検査(定期・毎日)、濁度管理を行う。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水質基準に適合した安全な水を市民へ供給する。	

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	水質検査(原水・浄水基準項目)	ヶ所	12	12	13
	水質検査(原水・浄水省略不可項目)	ヶ所	36	36	39
	水質検査(原水・浄水簡易項目)	ヶ所	96	96	104
	水質検査(水質管理目標設定項目)	ヶ所	4	4	4
	水質検査(原水指標箇)	ヶ所	72	72	72
	直接事業費	千円	5,538	6,056	6,152
	人件費	千円	11,781	11,564	4,270
	事業費計	千円	17,319	17,620	10,422
	国県支出金	千円			
受 益 者 負 担 債 権	千円	17,319	17,620	10,422	
一 般 財 源	千円	0	0	0	
必要人員	人	1.70	1.45	0.47	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	水質検査(原水・浄水基準項目)	説明			
	結果指標量	ヶ所	12	12	13
	対前年比	%	-	100.0%	108.3%
	活動コスト	円	1,755,600	1,751,600	2,069,500
	単位当たりコスト	円	146,300	145,900	159,100
結果指標	水質検査(原水・浄水簡易項目)	説明			
	結果指標量	ヶ所	96	96	104
	対前年比	%	-	100.0%	108.3%
	活動コスト	円	462,000	462,000	504,000
	単位当たりコスト	円	4,812	4,812	4,846

事業の成果	成果指標名	水質基準の適合率	式又は説明	定期水質検査の結果が水質基準に適合している割合
		17年度	18年度	19年度
成果指標量		100%	100%	100%
対前年比		100%	100%	100%
到達目標値		100%	到達目標年度	毎年度



事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	A
		<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
妥当性の評価	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	本事業は水道法に基づき水質管理をしており、定期水質検査、臨時水質検査を行い、常に安全な上水道を利用者に供給しており、目的、対象は妥当である	
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
市民ニーズ	市の関与	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率性評価<A~E>	A
		<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		課題認識
コスト	手 段	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	検査項目の検査回数を減らす。なお、人件費・人員の減は、平成19年度から実測によるものである。	
		<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
職 場	目 的 達 成 度	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	有効性評価<A~E>	A
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		課題認識
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	市民参画度	
		<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	厳しくなる水質基準に対応できるよう、技術力の向上に努める。	
		<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
		<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
		<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
		<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
		<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
		<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
		<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		

平成20年度の状況		説明	水質検査の基準項目に塩素酸が追加されるので、対応をする。又、クリプトスピリジウム対策で吉永浄水場の紫外線設備を設置する。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	13	結果指標量
	成果指標量		104
			100%

総合評価	評価区分<A~E>	A	
今後さらに厳しくなる水質検査(項目数の増、基準値が厳しくなる等)に対応するため、広域水道企業団、岡山県健康づくり財団と連携しながら技術力の向上に努める。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	水質基準の新規項目(塩素酸)対応の設備の設置	平成22年度	水質基準の適合